

支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

4月号 2021.4.1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会
〒267-0054 千葉市緑区大高町18-37 北村方
TEL/FAX 043-497-5083
<http://www.marow.or.jp/chiba/>

コロナ禍の20年度骨髓バンク活動と21年度活動に向けて

19年1月に中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、日本中に蔓延しました。千葉県では4月7日(火)に緊急事態宣言が発令され、5月25日(月)に解除されたものの収束せず、当会が設立30周年を記念して企画した医療講演会を始め、「コンサートと落語会」、アクアラインマラソンでの普及啓発、いのちの輝き展等多くの行事が中止や延期、ZOOM開催になりました。献血併行登録会の実施回数も前年の369回の半分も行かない161回に、またドナー登録者数も1,522名から492名に激減しました。20年1月8日(金)には2度目の宣言が発令されました。この宣言は3月21日(日)に解除されましたが、再び反転しつつあり現在第4波の懸念が出ています。

こんな中、20年12月末に骨髓バンクの移植25,000例(内、末梢血幹細胞移植は1,104例)を超えるという、明るいニュースもありました。21年度はコロナの感染状況を判断しながら、中止、延期になった行事の実施や大学、ショッピングセンター、企業での献血併行登録会を復活して参ります。また千葉県造血幹細胞移植推進協議会で要望した事項を実現して参りますので、今年度も皆様のご支援を宜しくお願い致します。(会長 梅田正造)



千葉骨髓バンク推進連絡会の紹介

千葉骨髓バンク推進連絡会

20年度の総括

今年度、千葉の会は設立30周年を迎え、記念行事の医療講演会を計画しましたが、中止になりました。19年1月に中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、日本中に蔓延しました。千葉県では4月7日(火)に緊急事態宣言が発令され、5月25日(月)に解除されたものの終息に至らず、企画した多数の行事が中止や延期、ZOOM開催になりました。20年1月8日(金)には2度目の宣言が発令され、3月7日(日)解除予定が21日(日)に延長されました。

◆中止、延期になった行事
①医療講演会 ②骨髓バンクチャリティコンサートと落語会 ③アクアラインマラソンでの普及啓発 ④ドナー登録会(19年4～6月) ⑤東京マラソンでの支援活動 ⑥箱根駅伝での普及啓発 ⑦野田夏まつり踊り七太で普及啓発と説明会 ⑧幕張メッセ「東京オートサロン」「フォーマット」での普及啓発と献血(登録)会 ⑨いのちの輝き展

◆ZOOM開催、書面開催
①第30回総会 ②定例会 ③千葉県造血幹細胞移植推進協議会(書面) ④三者会

◆千葉県内のドナー助成制度導入活動は、54市町村中47市町村が導入。導入率87%。

◆ドナー休暇制度導入活動は、県議会議員、市町議会議員に支援要望。

◆11月14日(土)、15日(日)、代々木公園でスノーバンク(東京雪祭)登録会を開東4団体と共催した。登録者85人、献血者271名だった。

◆都道府県別の千葉県のドナー登録者数は、12位で変わらず。対象人口千人当たりにおける登録者は、全国ワーストは7位で変わらず。

◆ヘア帽子製作は、日赤奉仕団の方々の支援を受け順調。8病院へ510個寄贈した。

◆登録者減対応で献血併行型登録会の年間回数を235回→332回→369回と増加していたが、161回と激減。登録者も865名→938名→1,522名から492名と激減。一方、献血ルームの登録者も550名→1,379名→781名と増が見えていたが、481名と更に激減し対策が必要。若者の登録者を増やせる大学での開催ゼロ。



千葉骨髓バンク推進連絡会

千葉県造血幹細胞移植推進協議会(21.3.8書面)での要望

昨年度は、コロナ禍のため多数の行事が中止や延期、ZOOM開催になりました。また献血併行登録会も回数が激減し、特に力を入れている若年層ドナー募集(大学での開催)はゼロでした。コロナが終息したら活動復活に全面的なご支援をお願い致します。

- 県内のドナー助成制度未導入の7市町村に引き続き導入を促進頂きたい。
- ドナー休暇制度導入は、引き続き県内経済関係団体へ今年度も働きかけ頂きたい。
- ドナー一定年者が毎年2万人/年 いる対策として、献血併行登録会を多数開催しているが、説明員手配に苦慮している。20年度は説明員研修希望者の紹介を頂いたが、今年度も紹介頂きたい。千葉の会も高齢化が進んでいることから業務課で研修会を開催を企画頂きたい。
- 業務課所管に「千葉県献血推進協議会」があるが、委員に「ドナー登録推進」の協力要請をして頂きたい。
- 献血併行登録会の改善について引き続きフォロー頂きたい。
(1)登録会場の効率運用と改善
①若い献血者が多い献血会場での登録会開催増
②自衛隊、消防学校での開催復活
③新たな大学、ショッピングセンターの開拓
(2)献血時の登録会開催の声掛けの徹底
- コロナで中止とした「骨髓バンクチャリティコンサートと落語会」は、今年は11月27日(土)に成田市文化芸術センターで行うべく計画している。広報で支援願いたい。

全国骨髓バンク推進連絡協議(国会協議会)の役員改選について

21年度は、全国協議会の2年に一度の役員改選の年(第11期役員選考)になります。このため役員選考委員会が設置され、2021年1月18日に第1回告示が出され、役員推薦書と公募立候補者届出書の提出依頼がありました。千葉の会からは、会長候補1名、副会長候補3名、監事候補2名、全国区理事3名、関東・甲信越地区理事2名の推薦書を提出すると共に、梅田が公募理事として立候補届出書を出しました。これらの推薦書、届出書を受けて役員選考委員会が、3月21日(日)に開催され、第2回告示として以下の「役員候補推挙者」を発表しました。

会長：仲田順和(重任) 副会長：渋谷俊徳(重任)、野村正満(重任)、大谷貴子(再任) 監事：一樂邦彦(重任)、黒部光司(新任) 全国区理事：田中重勝(重任)、村上忠雄(重任)、山村詔一郎(重任) 地区理事：島山茂房(再任)、菅早苗(重任)、若木換(重任)、館野守男(新任)、服部真樹(新任)、浅野祐子(重任)、山口明大(重任)、糸数美智子(新任) 公募理事：梅田正造(重任)、山崎裕一(新任)、北折健次郎(重任) 以上の候補は、2021年5月30日(日)の通常総会で選任されます。(梅田正造)

地区普及広報委員・説明員研修会に参加して

2月2日(火)にWEBで開催された2020年度地区普及広報委員・説明員研修会を受講しました。コロナウイルス感染予防のため、初のオンライン研修会となり、移動時間なく自宅で受講できて対面とはちがう雰囲気での研修会でした。研修内容では、提供ドナーに選ばれるのは20代、30代が6割以上との説明に、若年層への普及啓発の必要性を強く感じました。現在コロナ禍のため、今年度千葉県では大学での登録会がなく残念な思いをしています。各種イベントや普及啓発活動もありませんでしたので、収束後の普及啓発、登録会を行いたいと思いました。

また、滋賀骨髓献血の和を広げる会のコロナ禍での登録会開催についてのお話をお聞きして、共通する事柄を確認する事ができました。各地で工夫されながら活動されている様子を聞く事ができるのも研修会の大きな意義だと思います。

そして、ドナー登録後25年目にして提供ドナーとなった体験に感動しました。コロナの影響でコーディネーター日数が通常より長く、採取当日も面会禁止の中で提供ドナーとして患者さんの生命を救った事に感心しました。(北村美和子)



研修会後のQ&Aに対応する日本骨髓バンクの皆さん

登録会報告

三芳農村環境改善センター 2月19日(金) 説明員 西島隆史、一恵

登録者5名 説明者無しの結果でした。初めての現場で献血時間が13:30~15:30と短い時間(登録は15時迄)でした。酪農が主な産業と思っていましたが、農業中心の地域ということでした。来場者はシニアばかり、どうなることかと心配しましたが結果はOK。一番に登録をしてくださった方は保健師さんで前から関心があったとのこと。担当の方も登録をしてくださいました。最後に19歳の息子さんと献血に来られたおかあさんが、お二人で登録をしてくださいました。声掛けを熱心してくださった日赤の皆様には感謝です。(西島一恵)



横芝光町 町民会館 3月26日(木) 説明員 久永幸子

登録者4名 説明者1名の結果でした。午前中に登録された方は21歳の女性で、お母様がドナーの適合通知受け、確認検査したところ貧血がひどく提供出来ず残念がっていた姿を見て「登録したかった!」とお話ししてくださいました。本日の献血会場は町民会館が改装中の為、役場内での献血会でした。その為普段より献血される方が多く、若い職員の方にも登録していただきました。若い方は連れ立って来られるので、二人体制であればもう少し説明出来たと思い残念に思いました。



新宿中央公園での献血併行登録会 3月14日(日) 柴谷みち子

前日の台風モドキの雨風も上がり、快晴でしたが風の強い新宿中央公園「水の広場」での献血併行登録会でした。東日本大震災から10年、東京新都心ライオンズクラブと地元西新宿角三(つのさん)町会は「震災を忘れない! 甚大災害復興支援イベント」を同公園で毎年開催しています。しかし新型コロナ感染拡大で、残念ながら去年は中止、今年もイベントの開催は見送られました。でも震災から10年の節目であり、コロナ禍で献血・ドナー登録が激減しており、これらを待ち望んでいる多くの患者さんのために3月14日(日)に「献血&ドナー登録会」を開催する事になりました。登録会には東京の会を中心に千葉の会、神奈川の会、全国協議会から説明員が計9名、ボランティアが計5名参加しました。9時に集合し10時から受付の準備を日赤さんと共に行い、いよいよ開始という直前の9時50分に強風が吹き、あっという間に日赤さんのテント4張りが飛ばされて使用不能になりました。このため献血受付と登録会説明はテント無しのまま、やや暑い中で実施しました。

今回はライオンズさんが事前に献血者とドナー登録者の予約を取られていて、説明時間まで記入されていました。予約以外の方にも声掛けを行いました。この効果で新たに献血、登録された方が居られ、とてもありがたく思いました。一方、残念ながら予約した方で欠席の方も結構居られました。午後2時過ぎに、ライオンズさん主導で東日本大震災の犠牲者への1分間の黙禱が行われ、私たちも参加できる方が一緒に黙禱しました。

今回は東京の会員でもあり参加させていただきましたが、東京の会や神奈川の会の方の説明の様子を知ることができて大いに参考になりました。尚、本日の登録者は21名、献血者は95名でした。帰りにライオンズさんからスタバの珈琲券1,000円分を頂き、疲れも吹っ飛びました。最後に進行表を作成し日赤、ライオンズ、財団、全国協議会と開催前から調整し、当日の登録会責任者をされた梅田さん(当会会長)に感謝申し上げます。有難うございました。



登録会報告(会場)	2月	登録者数(人)	説明受講者数(人)	説明員
モノールちば駅献血ルーム	10日(水)	4	2	柴谷みち子
芝山町保健センター	16日(火)	都合によりキャンセル		
津田沼献血ルーム	17日(水)	2	3	柴谷みち子
モノールちば駅献血ルーム	18日(木)	5	1	北村美和子
習志野市役所	19日(金)	1	2	山本栄
三芳農村環境改善センター	19日(金)	5	0	西島隆史 西島一恵
松戸献血ルーム	19日(金)	3	3	柴谷みち子
津田沼献血ルーム	22日(月)	5	5	北村美和子
酒々井町保健センター	25日(木)	都合によりキャンセル		
袖ヶ浦市保健センター	25日(木)	3	1	西島隆史 西島一恵
船橋献血ルームフェイス	26日(金)	4	4	柴谷みち子
柏献血ルーム	27日(土)	2	3	河口郁子 柴谷みち子
2月 合計		34	24	

登録会報告(会場)	3月	登録者数(人)	説明受講者数(人)	説明員
睦沢町農村環境改善センター	2日(火)	5	1	久永幸子
モノールちば駅献血ルーム	4日(木)	4	1	北村美和子
松戸献血ルーム	10日(水)	3	2	柴谷みち子
津田沼献血ルーム	11日(木)	5	0	北村美和子
浦安市役所	12日(金)	3	1	西島隆史 西島一恵
千葉大学医学部付属病院	17日(水)	6	0	北村勉 北村美和子
龍山市役所	17日(水)	5	1	西島隆史 西島一恵
船橋献血ルームフェイス	17日(水)	0	3	河口郁子
柏献血ルーム	17日(水)	5	3	柴谷みち子
富里市役所	22日(月)	2	1	久永幸子
白子町保健づくりセンター	24日(水)	0	0	北村勉 北村美和子
我孫子市役所	25日(木)	0	2	柴谷みち子
横芝光町町民会館	26日(金)	4	1	久永幸子
イオンタウン木更津旭	27日(土)	2	0	西島隆史 西島一恵
船橋市役所	29日(月)	2	2	柴谷みち子
千葉市役所	30日(火)	1	0	志田和子
山武市成東保健福祉センター	30日(火)	1	0	久永幸子
松戸市役所	31日(水)	1	3	柴谷みち子
千葉県庁	31日(水)	0	0	志田和子
長南町保健センター	31日(水)	2	1	西島隆史 西島一恵
3月 合計		51	22	

ボランティア・会員募集

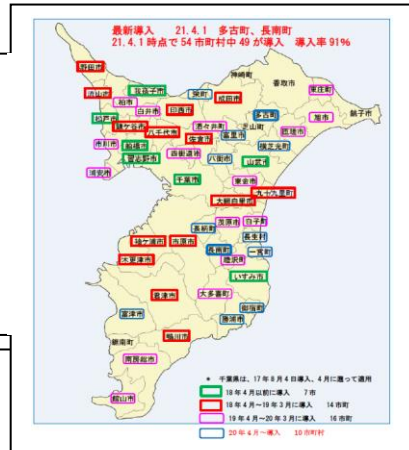
ボランティアとして出来る事が色々あります。骨髓バンク=登録だけではありません。何かやってみたくになったら、お気軽に連絡下さい。

TEL/FAX 043-497-5083 事務局 北村まで

千葉県内市町村のドナー助成制度の導入状況

4月1日から新年度になりましたが、4月1日付けで**多古町、長南町**がドナー助成制度を導入しました。これで千葉県内の54市町村中49で導入され、導入率は91%になりました。

未導入の市町は、**香取市、銚子市、芝山町、神崎町、鋸南町**の5つ迄になりました。この内鋸南町については、4月中に導入するとの情報を得ています。残り4市町については、薬務課に導入の要請を頂くようお願いしました。また弊社からも市・町長、議員の先生方に直接導入要請をします。(梅田正造)



最新医療情報

ハプロ移植について

近年急速に増加し、年間450件ほどになってきたハプロ移植について、全国骨髄バンク推進連絡協議会のガイドブック「白血病と言われたら」から、北大血液内科 講師 杉田純一先生の「ハプロ移植」記事の概要を紹介します。

1. ハプロ移植とは

HLAは父親と母親の型を一つずつ受け継ぐので、A, B, C, DR座でそれぞれ二つずつの型を持つことになり、通常はA, B, C, DR座で各2個、合計八つのHLAが適合したドナーさんからの移植を行います。半分の合計4つのHLAが適合したドナーさんから移植が行われることがあります。これをHLA半合致移植（ハプロ移植）と呼びます。

2. ハプロ移植のドナー選択

父親もしくは母親から受け継いだ遺伝子のセット（ハプロタイプ）が一致した人からの移植ですので、親子であれば100%、同胞であれば50%の確率で半合致となります。さらに従兄弟などでも見つかる可能性もあり、ほとんど全ての人にドナーが見つかる可能性があります。この点がハプロ移植の大きな利点です。ただし、輸血などによるHLA抗体の問題があります。ドナーさんのHLAに対応するHLA抗体を持っていた場合は、生着不全の危険がありますので、他のドナーさんを探すことが推奨されています。

3. ハプロ移植の方法、成績

HLA適合移植と同じ方法では、GVHDの危険性が高くなり、上手くいかないことが歴史的に明らかになり、様々な工夫がなされるようになりました。その原則は移植細胞からドナーさんのT細胞を取り除くことです。T細胞を取り除く方法には二つあり、機器を用いて体外で除去する方法と薬剤を投与して体内で除去する方法です。日本では薬剤を用いる方法が中心で、ATGやシクロホスファミドが多く用いられています。

3. 1 ATGによる方法

ATGは造血幹細胞移植後のGVHD対応に使われている薬剤です。日本では兵庫医科大学方式が多く使われています。ATGの投与量が多すぎると感染症の危険性が高まり、少なすぎるとGVHDの危険性が高まります。最適な投与量の検討が必要な段階です。

一方ハプロ移植の抗腫瘍効果を期待して、寛解とならない場合や、移植後再発例の移植に行われることも多い方法です。

3. 2 シクロホスファミドによる方法

シクロホスファミドは抗がん剤の一つです。近年この薬剤を移植後に投与することで優れたGVHD予防効果が得られることが判ってきました。移植後シクロホスファミドを用いたハプロ移植の研究は欧米で多くの報告があり、HLA適合移植と同等の移植成績が期待でき、GVHDの危険性についても適合移植と同等、あるいはむしろ低いとの結果が示されました。

日本でも複数の臨床試験が実施され、欧米と同様、GVHDを十分に抑制し、比較的安全に実施可能であることが示されています。従来は高リスクの患者さんに実施されることが多かったハプロ移植ですが、HLA適合のドナーさんが得られない患者さんの場合には、標準リスクの患者さんにも考慮することが出来るものと考えます。

以上が記事概要の紹介ですが、ドナーさんが、タイミングよく見つからない患者さんにとっては朗報であり、各種の移植法の特徴を生かしたベストな方法が選択されるようになればと期待しております。(溝口理文)

関東・甲信越地区ブロックセミナーに参加して

3月27日(土)にZoom開催された関東・甲信越地区ブロックセミナーに参加しました。千葉の会からは梅田会長、柴谷さん、北村美が参加。他には神奈川の会、東京の会、埼玉の会、命のアサガオにいがた、全国協議会事務局と総勢15名の参加で行われました。今回「日赤・行政との関係について」が主なテーマで、まず登録会状況の報告が各団体からありました。登録会の設定ひとつとっても県によって違いがある事を認識しました。その後参加者の自己紹介があり、フリートークとなりました。その中で、説明員増員のための説明員養成講座を千葉以外は都県で開催していること、登録会の広報について、登録希望者への説明時間について等、さまざまな情報交換ができました。

最後に全国協議会より「2021全国骨髄バンクボランティアの集い」の案内がありました。5月29日(土)14時~ハイブリッド方式で500名まで入れるZoomで開催されるとの事です。大谷貴子さんコーディネートのパネルディスカッションがあります。また一堂に集えることを心待ちにしながら参加していきたいと思っております。

(北村美和子)

会費納入のお願い

千葉骨髄バンク推進連絡会は、皆様からの会費とご寄付で運営しています。

皆様のご支援とご協力をお願い致します。

郵便局以外の銀行ATMやインターネットバンキングでお手続きの場合は、次のとおり指定してください。

ゆうちょ銀行店名 ○一九(ゼロイチキョウ)、口座番号0547168

年会費 3,000円(学生1,000円)

振替口座名 千葉骨髄バンク推進連絡会

郵便振込口座番号 00160-6-547168

日本骨髄バンクと千葉県登録者数最新情報 (2021年2月末現在)

	全国 (累計)	対前号増減数	対前年増減数	千葉県 (累計)	対前号増減数	対前年増減数
ドナー登録者数	530,326	+1,186	+1,238	18,161	+52	+266
累計患者登録者数	61,197	+366	+2,480	2,352	+16	+91
累計移植例数	25,217	+178	+1,070	802	+5	+32

ちょっといい漢字の話 (第5話) ～さくら、桜、櫻～

今年は早々と桜が満開となりました。このコラムを読んでいただく頃にはすっかり葉桜になっているかもしれません。「男はつらいよ」の寅さんは、妹さくらさんの見合いの席で「二階(貝貝)の女は気(木)にかかる」と言いました。この台詞を聞いてクスリとなる人はいままや少数派でしょうか。

「桜」の漢字は教育漢字として小学校で学習しますが、もともとは「櫻」と書いていました。櫻の字は、木(きへん)に嬰(えい、おう)の音符で構成されています。嬰には、赤ん坊(みどりご/嬰兒)、女の子といった意味のほか、めぐる、ふれるといった意味を持っています。

嬰の字は、貝・貝・女からできています。貝は、もともと古代中国で貨幣にも使われた子安貝の象形文字で、その貝が2つ並ぶことで装飾品を示します。よって、女性が首飾りをすることを意味しているのです。そこから、首飾りのように木を取り巻いて花が咲く木、さくらんぼのような小さい実、または首飾りの玉のような実をつける木を指す漢字となりました。先般ご紹介した鐵もそうですが、漢字の由来を紐解くには旧字を知ることが大事です。因みに、櫻は旧字ですが人名漢字に指定されているので、桜、櫻、さくらと選ぶことができます。今年、密を避けて、自転車で巡りました。来年こそは、首飾りの似合う女性と一緒に花見の宴ができるように願っています。
(漢字教育士/萩原匡祐)

さくら坂公園
Sakurazaka Park



骨髄移植から5年 寛解を迎えて (前編)

今年の1月で丁度移植後5年が経過、一般的には寛解と言われ、再発もあることから完治とは言わないらしい。現在は血液の検査数値も体調も良好に推移しています。今ここに生存していること自体が不思議な感じです。5年前、なかなか治らない風邪だと思っていたら、血液検査の結果、骨髄異形成症候群と診断されました。その時は知識もなかったので「あっそうなんだ」と漠然とした感じだったのが、血液の癌でこのままだと「2～4年の命」と言われた時は、気が動転してしまいました。そして即入院となり闘病生活が始まりました。

私の場合は心筋梗塞・高血圧等の持病もありましたので、今後の治療方法について、抗がん剤治療で行くか移植で行くか判断を求められました。移植には大きな問題もあり、移植後の体に異変が生じる場合もあるとのことでした。しかしリスクもあるけど成功すれば生き延びることができると思い、私は移植を選択しました。

移植は提供してくれるドナーが見つからなければできません。輸血や抗がん剤治療そして敗血症を患いながら待ち遠しい日々が続きました。そしてついに4ヶ月後ドナーが見つかり移植日も決まったのでした。

(伊庭辰雄)

今後 (4、5月) の予定 (お知らせ)

ドナー登録会

- 千葉県庁 4月2日 (金)、5日 (月)
- 松戸献血ルーム 4月7日 (水)
- 鴨川市役所 4月8日 (木)
- 鴨川市ふれあいセンター 4月8日 (木)
- 柏献血ルーム 4月12日 (月)
- 大網白里市保健センター 4月15日 (木)
- モノレールちば駅献血ルーム 4月15日 (木)
- 市川市役所第一庁舎 4月21日 (水)
- 成田市役所 4月23日 (金)
- 津田沼献血ルーム 4月23日 (金)
- 木更津市役所 4月27日 (火)
- 津田沼献血ルーム 4月27日 (火)
- 船橋献血ルームフェイス 4月28日 (水)
- イオンモール幕張新都心 4月29日 (木)
- 明海大学 4月30日 (金)

定例会、総会

日時 5月9日 (日) 定例会 13:00～、総会 14:30～
場所 船橋市勤労市民センター 特別会議室

患者・家族電話相談「白血病フリーダイヤル」

0120-81-5929 再開のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため首都圏に発出されていましたが緊急事態宣言が解除されましたので、3月27日(土)から再開することになりました。当面下記日程で6月末まで続行します。

毎月第2、4土曜日の10:00～16:00
血液専門医も相談に応じます。

(認定 NPO 法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

<編集後記>

ニュースで臍帯血移植が2万件を超えたと知りました。新型コロナの影響でドナーさんの骨髄液採取が思うように進まない事も関係しているとありました。

説明員をしていて声掛け後、登録の方や既登録者さんから貴重なお話を伺ったりする時があります。今回は母親が臍帯血提供をされたという高校3年の娘さんが「3月に18歳になったら登録します」と言ってくれました。

また献血受付待ちの男性の方が、今日こんなメールが見せてくれたのが「ある患者さんと適合したので本日関係書類を送付しました。7日以内にお返事を・・・」このショートメールを拝見し、我が事のように嬉しさがこみ上げてきました。新型コロナウイルスの一日も早い収束を、そしてドナーさんの骨髄採取が予定通り行われることを祈る毎日です。(柴谷みち子)

ここからのご寄付、ありがとうございます。

匿名 20,000 円
向井圭子様 5,000 円